

内閣総理大臣杯授与
第19回 全日本選抜
剣道八段優勝大会



日時 / 令和3年4月18日(日) 午前9時30分 開会
会場 / 名古屋市中村スポーツセンター

主催：公益財団法人 全日本剣道連盟
主管：一般財団法人 愛知県剣道連盟
後援：スポーツ庁・中日新聞社



剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとるとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

挨拶



公益財団法人 全日本剣道連盟
会長 張 富士夫

春光麗らかな好季節に、ここ名古屋市中村スポーツセンターにおいて、第19回全日本選抜剣道八段優勝大会を開催いたします。コロナ禍での大変な状況の中、選手の皆様、関係団体の皆さまにおかれまして大会の開催に向けご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本大会の前身は、昭和52年より26年間に亘り明治村剣道大会として、明治村「無声堂」で開催されていた剣道八段戦であります。平成14年より本連盟が継承させて頂き、通算で44回目を迎える大会であります。

全国より選抜された32名の八段剣士の皆様におかれましては、大会の名にふさわしい格調のある試合を展開していただきたいと思っております。また、日頃より錬磨されている実力を十分に発揮し、剣道の範を示されるとともに、剣道の普及・発展の原動力となられますことを期待いたします。

本大会の試合時間は5分間となりますが、剣士の力量を出し切った勝負を展開して頂きたいと思っております。観戦される皆様には、選抜された八段剣士の修練による理と技をご覧いただき、自己の修養・研鑽に役立てていただきたいと思っております。

結びに本大会の開催に当たり、主管団体として運営にご尽力いただく一般財団法人愛知県剣道連盟、ご後援いただくスポーツ庁・中日新聞社に深甚なる謝意を表しますとともに、本大会が今後益々充実した内容で続けられることを祈念し、ご挨拶といたします。

第19回 全日本選抜剣道八段優勝大会要項抜粋

1. 趣 旨

全国より選抜された心技ともに円熟した剣道八段剣士32名による試合を、広く剣道愛好家に披露し、剣道の真価を問うと共に、一般の方々の剣道に対する認識をさらに深めようとするものである。

(3) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り勝敗の決するまで継続する。

2. 出場選手の選出

全日本剣道連盟(以下全剣連という)会長が委嘱する選考委員により構成される「選手選考委員会」において選考された剣道八段受有者32名。この場合、若干の補欠を設ける。

4. 公開演武

日本剣道形を行う。

3. 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則による。
- (2) 試合はトーナメント方式により行い、優勝、第二位、第三位(2名)を決定する。

5. 表 彰

- (1) 優勝者には、内閣総理大臣杯、全剣連より賞状および賞品を授与する。
- (2) 第二位、第三位(2名)に賞状および賞品を授与する。
- (3) 出場選手に参加賞を贈る。

大会次第

1. 係 員 集 合	8:30
2. 選 手 集 合	8:50
3. 役 員・審 判 員 整 列	9:25
4. 選 手 整 列	9:25～ 9:30
5. 開 会 式	9:30～ 9:40
6. ※ 日 本 剣 道 形	9:40～ 9:50
7. 試 合 1 回 戦 (1 6 試 合)	9:50～ 12:30
8. 昼 食 休 憩	12:30～ 13:00
9. 試 合 2 回 戦 (8 試 合)	13:00～ 14:40
10. 試 合 3 回 戦 (4 試 合)	14:40～ 15:30
11. 試 合 準 決 勝 (2 試 合)	15:30～ 15:55
12. 試 合 決 勝 (1 試 合)	16:05～ 16:20
13. 閉 会 式 (表 彰)	16:30～ 16:50

※印は公開演武

出場選手内訳

1. 役 職 別 員 数

教 職 員 関 係	17名
団 体 職 員	3名
会 社 員	2名
刑 務 官	1名
そ の 他	9名

2. 平均年齢

60.4歳

最 年 長	65歳
最 年 少	52歳

3. 称号別員数

範 士	3名
教 士	29名

審判員

審判長  剣道範士 村上 済		
 剣道範士 濱崎 満	 剣道範士 高橋 俊昭	 剣道範士 石塚 美文
 剣道範士 二子石 貴資	 剣道範士 亀井 徹	 剣道範士 小坂 達明
 剣道範士 塚本 博之	 剣道範士 古川 和男	 剣道範士 笠村 浩二

審判員割当表

審判長・村上 済(香川)

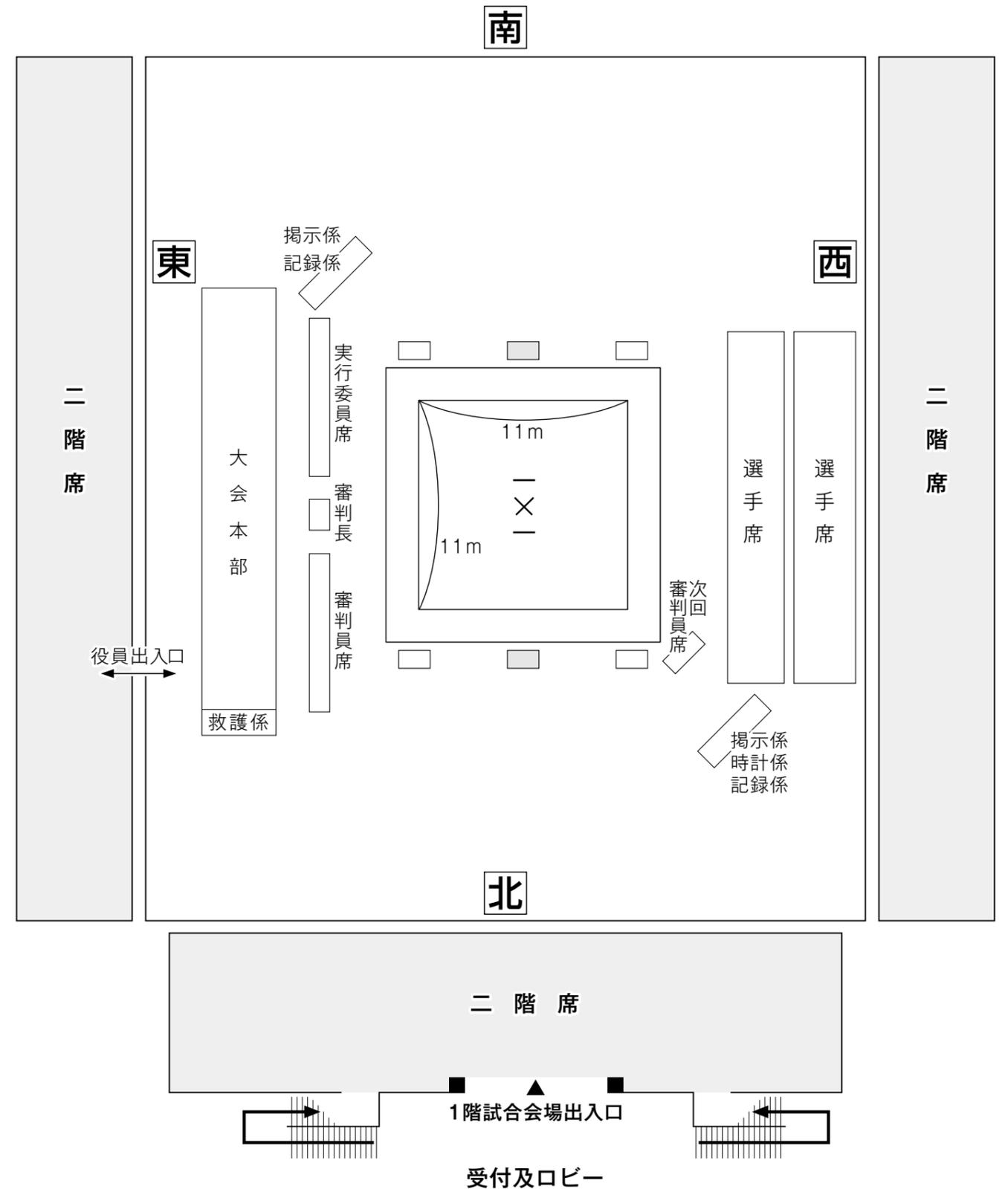
1組	濱崎 満(東京) 二子石 貴資(兵庫) 小坂 達明(大阪)	2組	高橋 俊昭(京都) 亀井 徹(熊本) 笠村 浩二(神奈川)	3組	石塚 美文(大阪) 塚本 博之(東京) 古川 和男(北海道)
----	-------------------------------------	----	-------------------------------------	----	--------------------------------------

※ () 内は、登録の都道府県剣道連盟

公開演武・日本剣道形演武者

打太刀 剣道範士 石塚 美文
 仕太刀 剣道範士 二子石 貴資

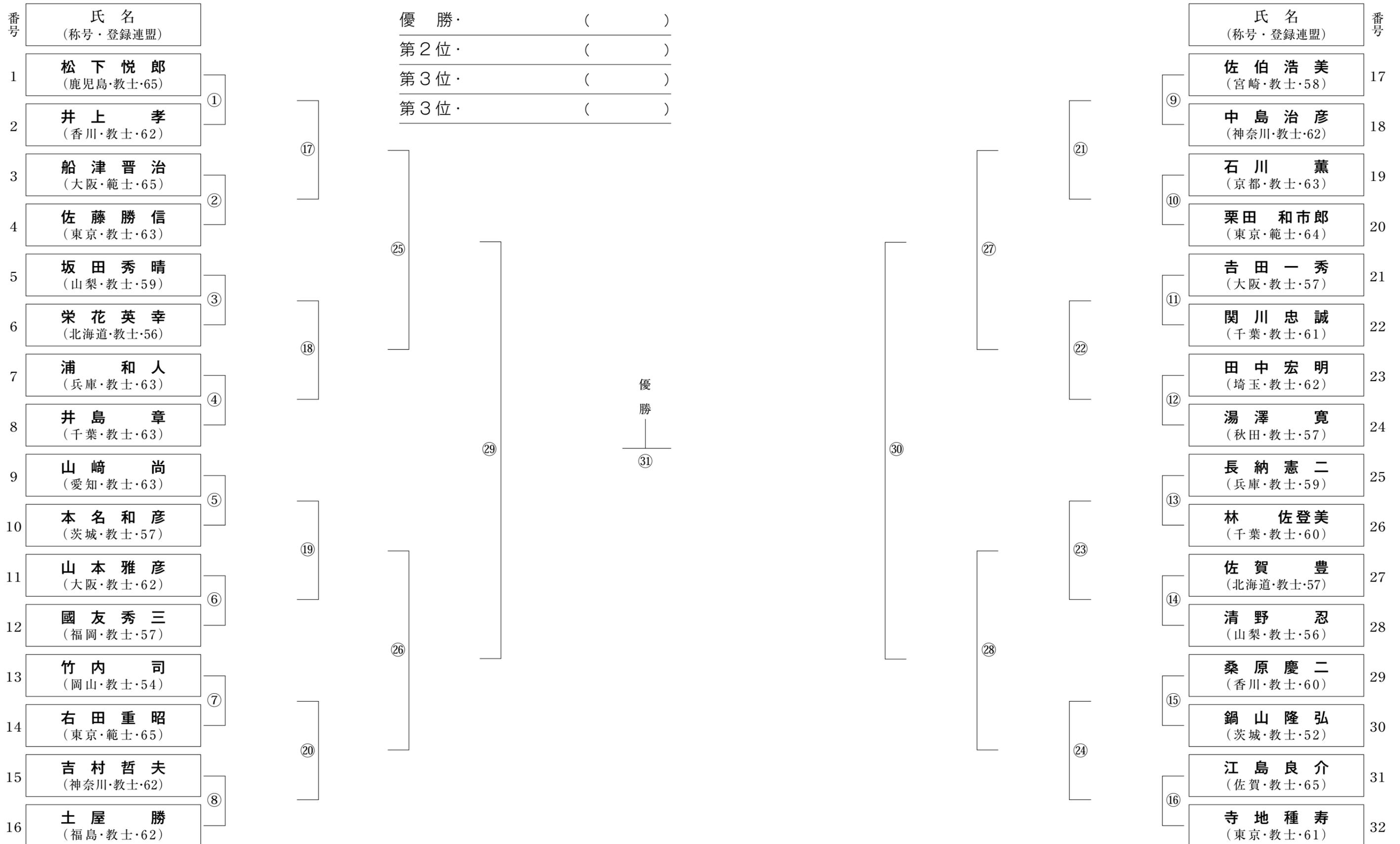
[会場図]



内閣総理大臣杯授与
第19回 全日本選抜剣道 八段優勝大会 組合せ表

(令和3年4月18日(日) 於・名古屋市中村スポーツセンター)

優勝・ ()
 第2位・ ()
 第3位・ ()
 第3位・ ()



選手名簿

<p>1</p>  <p>鹿児島県 まつ した えつ ろう 松下悦郎 (65歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 団体職員 鹿児島県剣道連盟 理事長 3. 法政大卒 4. 鹿児島県出身 5. ●選手権大会3回出場 ●東西対抗大会4回出場 ●国体2位 ●全国警察官大会 団体二部優勝 ●全日本学生大会 優勝2位各1回 ●本大会2回目出場 	<p>2</p>  <p>香川県 いの うえ たかし 井上孝 (62歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 学校支援員 3. 東海大卒 4. 香川県出身 5. ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会団体優勝 ●本大会初出場 	<p>3</p>  <p>大阪府 ふな つ しん じ 船津晋治 (65歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 範士 2. 花園大学・甲子園学院 剣道部師範 非常勤嘱託 3. 西海学園高卒 4. 長崎県出身 5. ●選手権大会出場 ●世界大会団体優勝 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会 優勝1回2位3回 ●国体2位3回 ●全国警察官大会 団体優勝2回・個人3位1回 ●本大会12回目出場 第5回・第8回大会優勝3位1回 	<p>4</p>  <p>東京都 さ とう かつ のぶ 佐藤勝信 (63歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 会社員 顧問 3. 国士舘大卒 4. 宮城県出身 5. ●選手権大会出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会2位 ●国体優勝 ●全国警察官大会優勝 ●寛仁親王杯八段大会優勝 ●本大会3回目出場
<p>5</p>  <p>山梨県 さか た ひで はる 坂田秀晴 (59歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 甲府南高校 教員 3. 国士舘大卒 4. 熊本県出身 5. ●選手権大会出場 ●世界大会個人2位3位 ●東西対抗大会11回出場 ●国体優勝 ●全国教職員大会 団体優勝・個人優勝 ●本大会5回目出場 	<p>6</p>  <p>北海道県 えい が ひで ゆき 栄花英幸 (56歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 北海道恵庭南高校 教員 3. 東海大卒 4. 北海道出身 5. ●選手権大会2位1回3位2回 ●都道府県対抗大会 優勝2回2位1回3位1回 ●全国教職員大会 団体優勝1回2位1回 ●本大会2回目出場 	<p>7</p>  <p>兵庫県 うら かず と 浦和人 (63歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 神戸市会計年度職員 3. 龍谷高卒 4. 佐賀県出身 5. ●選手権大会出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会出場 ●国体出場 ●全国警察官大会 団体・個人出場 ●本大会3回目出場 	<p>8</p>  <p>千葉県 い じま あきら 井島章 (63歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 国際武道大学 教授 3. 日本体育大卒 4. 秋田県出身 5. ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会出場 ●本大会初出場

選手名簿

<p>9</p>  <p>愛知県 やま ざき まさる 山崎尚 (63歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 学校法人海陽学園 非常勤講師 3. 国士舘大卒 4. 新潟県出身 5. ●選手権大会3回出場 ●東西対抗大会4回出場 ●都道府県対抗大会2位1回 ●国体優勝2回2位1回 ●全国警察官大会 団体一部2位1回・個人2位1回 ●本大会6回目出場 	<p>10</p>  <p>茨城県 ほん な かず ひこ 本名和彦 (57歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. (株)日立製作所 日立工業専修学校 教頭 3. 日本大卒 4. 茨城県出身 5. ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会3位 ●国体優勝 ●全日本実業団大会個人優勝 ●本大会初出場 	<p>11</p>  <p>大阪府 やま もと まさ ひこ 山本雅彦 (62歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 大阪府教育委員会 3. 国士舘大卒 4. 大阪府出身 5. ●選手権大会5回出場 ●世界大会個人3位 ●都道府県対抗大会優勝4回 ●国体3回出場 ●全国警察官大会優勝2回 ●本大会4回目出場 	<p>12</p>  <p>福岡県 くに とも しゅう ぞう 國友秀三 (57歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 福岡舞鶴高校・ 福岡舞鶴誠和中学校 校長 3. 国士舘大卒 4. 福岡県出身 5. ●国体出場 ●全国教職員大会出場 ●本大会初出場
<p>13</p>  <p>岡山県 たけ うち つかさ 竹内司 (54歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 勝央町役場 健康福祉部 参事 3. 日本体育大大卒 4. 岡山県出身 5. ●東西対抗大会5回出場 ●都道府県対抗大会 16回出場優勝2回3位3回 ●国体5回出場3位1回 ●本大会2回目出場3位1回 	<p>14</p>  <p>東京都 みぎ た しげ あきら 右田重昭 (65歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 範士 2. 国士舘大学 教授 3. 国士舘大卒 4. 熊本県出身 5. ●都道府県対抗大会 優勝1回3位1回 ●全国教職員大会 優勝3回2位1回 ●全日本学生大会優勝 ●寛仁親王杯八段大会3位 ●本大会2回目出場 	<p>15</p>  <p>神奈川県 よし むら てつ お 吉村哲夫 (62歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 東海大学 教授 3. 東海大学大学院卒 4. 佐賀県出身 5. ●東西対抗大会出場 ●国体出場 ●寛仁親王杯八段大会3位 ●本大会初出場 	<p>16</p>  <p>福島県 つち や まさる 土屋勝 (62歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 講師 3. 順天堂大卒 4. 福島県出身 5. ●東西対抗大会3回出場 ●国体6回出場 ●全国教職員大会 団体優勝3回・個人優勝3回 ●全日本選抜七段大会出場 ●本大会初出場

選手名簿

<p>17</p>  <p>宮崎県 佐伯浩美 (58歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 宮崎県立高千穂高校 校長 3. 筑波大卒 4. 熊本県出身 5. ●東西対抗大会5回出場 ●都道府県対抗大会出場 ●国体優勝1回 ●全国教職員大会優勝1回2位1回3位2回 ●本大会3回目出場 	<p>18</p>  <p>神奈川県 中島治彦 (62歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 日本文化大学 教授 3. 東海大卒 4. 福岡県出身 5. ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会出場 ●本大会初出場 	<p>19</p>  <p>京都府 石川薫 (63歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 京都産業大学 剣道部師範 3. 京都産業大卒 4. 佐賀県出身 5. ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会出場 ●国体出場 ●本大会2回目出場 	<p>20</p>  <p>東京都 栗田和市長 (64歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 範士 2. 団体職員 全日本剣道道場連盟 常務理事兼事務局長 3. 法政大卒 4. 神奈川県出身 5. ●選手権大会3位 ●東西対抗大会出場 ●国体優勝1回2位2回 ●全国警察官大会団体優勝5回 ●本大会6回目出場
<p>21</p>  <p>大阪府 吉田一秀 (57歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 浪速高 指導教諭 3. 国士舘大卒 4. 大阪府出身 5. ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会2位3位 ●国体出場 ●全国教職員大会 団体・個人優勝 ●本大会初出場 	<p>22</p>  <p>千葉県 関川忠誠 (61歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 拓殖大学紅陵高 教諭 3. 国士舘大卒 4. 千葉県出身 5. ●選手権大会出場 ●東西対抗大会出場 ●国体出場 ●本大会初出場 	<p>23</p>  <p>埼玉県 田中宏明 (62歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 団体職員 解脱練心館館長 3. 国士舘大卒 4. 佐賀県出身 5. ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会優勝2位各1回 ●本大会初出場 	<p>24</p>  <p>秋田県 湯澤寛 (57歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 新屋高校 教頭 3. 大阪体育大卒 4. 秋田県出身 5. ●選手権大会出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会出場 ●国体出場 ●全国教職員大会2位3位 ●本大会3回目出場

選手名簿

<p>25</p>  <p>兵庫県 長納憲二 (59歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 滝川第二中学・高校 教員 3. 国士舘大卒 4. 大阪府出身 5. ●東西対抗大会2回出場 ●都道府県対抗大会6回出場3位 ●国体2回出場 ●全国教職員大会18回出場 ●本大会初出場 	<p>26</p>  <p>千葉県 林佐登美 (60歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 中央学院高校 教諭 3. 日本体育大卒 4. 鹿児島県出身 5. ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会2位 ●国体3位 ●全国教職員大会団体2位 ●全国高校大会団体優勝 ●本大会2回目出場 	<p>27</p>  <p>北海道 佐賀豊 (57歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 札幌日本大学高校 教頭 3. 筑波大卒 4. 北海道出身 5. ●選手権大会4回出場 ●東西対抗大会8回出場 ●都道府県対抗大会8回出場2位1回3位1回 ●国体26回出場 優勝1回2位1回3位1回 ●全日本選抜七段大会4回出場2位1回 ●本大会3回目出場 	<p>28</p>  <p>山梨県 清野忍 (56歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 峡南広域行政組合 管理事務局長 3. 明治大卒 4. 山梨県出身 5. ●選手権大会出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会出場 ●国体出場 ●本大会3回目出場
<p>29</p>  <p>香川県 桑原慶二 (60歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 刑務官 高松矯正管区警備指導官 3. 鹿児島商工高卒 4. 鹿児島県出身 5. ●東西対抗大会5回出場 ●本大会初出場 	<p>30</p>  <p>茨城県 鍋山隆弘 (52歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 筑波大学 教員 3. 筑波大学大学院卒 4. 福岡県出身 5. ●選手権大会10回出場 ●世界大会2回出場 ●東西対抗大会2回出場 ●都道府県対抗大会2位1回3位2回 ●国体優勝 ●全国教職員大会優勝3回2位2回3位1回 ●本大会初出場 	<p>31</p>  <p>佐賀県 江島良介 (65歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 佐賀県スポーツアドバイザー 佐賀国スゴ競技力推進本部 3. 福岡大卒 4. 佐賀県出身 5. ●東西対抗大会2回出場 ●都道府県対抗大会出場 ●国体6回出場 ●全国警察官大会 団体・個人出場 ●全国教職員大会 団体3位1回・個人2位2回 ●本大会初出場 	<p>32</p>  <p>東京都 寺地種寿 (61歳)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教士 2. 無職 3. 法政大卒 4. 鹿児島県出身 5. ●選手権大会8回出場 ●世界大会優勝3回 ●都道府県対抗大会優勝1回 ●国体優勝2回 ●全国警察官大会 団体優勝8回・個人優勝2回 ●本大会3回目出場

全日本選抜剣道八段優勝大会入賞者

<p>第1回大会 平成15年4月13日(日) 名古屋市総合体育館 優勝 西川 清紀(東京、教士、48) 第2位 加治屋速人(埼玉、教士、49) 第3位 古川 和男(北海道、教士、48) 第3位 梯 正治(東京、教士、55) ☆選考基準：年齢60歳以下</p>	<p>第2回大会 平成16年4月11日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 山田 博徳(熊本、教士、56) 第2位 宮澤 保行(宮城、教士、55) 第3位 千葉 仁(東京、範士、59) 第3位 岡田 一義(三重、教士、62) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>
<p>第3回大会 平成17年4月17日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 山中 茂樹(埼玉、教士、60) 第2位 白石 正範(栃木、教士、58) 第3位 遠藤 正明(東京、教士、54) 第3位 宮澤 保行(宮城、教士、56) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>	<p>第4回大会 平成18年4月16日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 二子石貴資(兵庫、教士、55) 第2位 豊村 東盛(東京、教士、55) 第3位 俣木 正喜(鹿児島、教士、58) 第3位 末野 栄二(鹿児島、教士、57) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>
<p>第5回大会 平成19年4月15日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 船津 晋治(大阪、教士、51) 第2位 藤原 崇郎(広島、範士、60) 第3位 梯 正治(東京、範士、59) 第3位 濱崎 満(東京、教士、57) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>	<p>第6回大会 平成20年4月20日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 遠藤 正明(東京、教士、57) 第2位 氏家 道男(東京、教士、56) 第3位 濱崎 満(東京、教士、58) 第3位 江口 忠文(大分、教士、61) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>
<p>第7回大会 平成21年4月19日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 濱崎 満(東京、範士、59) 第2位 古川 和男(北海道、教士、54) 第3位 大城戸 功(愛媛、教士、53) 第3位 重松 隆(滋賀、教士、56) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>	<p>第8回大会 平成22年4月18日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 船津 晋治(大阪、教士、54) 第2位 佐藤 桂生(兵庫、教士、57) 第3位 亀井 徹(熊本、範士、55) 第3位 東 良美(愛知、教士、53) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>
<p>第9回大会 平成23年4月17日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 東 良美(愛知、教士、54) 第2位 亀井 徹(熊本、範士、56) 第3位 豊村 東盛(東京、教士、60) 第3位 船津 晋治(大阪、教士、55) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>	<p>全剣連設立60周年記念第10回大会 平成24年4月15日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 谷 勝彦(群馬、教士、54) 第2位 東 一良(愛知、教士、61) 第3位 西川 清紀(東京、教士、57) 第3位 笠村 浩二(神奈川、教士、60) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>
<p>第11回大会 平成25年4月21日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 石田 利也(東京、教士、51) 第2位 谷 勝彦(群馬、教士、55) 第3位 稲富 政博(佐賀、教士、52) 第3位 松田 勇人(奈良、教士、55) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>	<p>第12回大会 平成26年4月20日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 稲富 政博(佐賀、教士、53) 第2位 東 良美(愛知、教士、57) 第3位 清水 新二(熊本、教士、56) 第3位 大澤 規男(埼玉、教士、54) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>
<p>第13回大会 平成27年4月19日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 古川 和男(北海道、教士、60) 第2位 石田 利也(東京、教士、53) 第3位 宮崎 正裕(神奈川、教士、52) 第3位 山中 洋介(鳥取、教士、54) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>	<p>第14回大会 平成28年4月17日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 宮崎 正裕(神奈川、教士、53) 第2位 松本 政司(香川、教士、53) 第3位 松田 勇人(奈良、教士、58) 第3位 小山 正洋(静岡、教士、54) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>

<p>第15回大会 平成29年4月16日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 宮崎 正裕(神奈川、教士、54) 第2位 谷 勝彦(群馬、教士、59) 第3位 栗田和市郎(東京、教士、60) 第3位 石田 利也(東京、教士、55) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>	<p>第16回大会 平成30年4月15日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 恩田 浩司(東京、教士、57) 第2位 石田 利也(東京、教士、56) 第3位 宮戸 伸之(和歌山、教士、56) 第3位 江藤 善久(大阪、教士、51) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>
<p>第17回大会 平成31年4月21日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 栄花 直輝(北海道、教士、51) 第2位 松本 政司(香川、教士、56) 第3位 竹内 司(岡山、教士、52) 第3位 栗田和市郎(東京、教士、62) ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>	<p>第18回大会 令和2年4月19日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止</p>
<p>第19回大会 令和3年4月18日(日) 名古屋市中村スポーツセンター 優勝 () 第2位 () 第3位 () 第3位 () ☆選考基準：八段取得5年以上年齢65歳以下</p>	

MEMO

全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)

令和3年3月10日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	〒102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	03(3211)5804・F(3211)5807
会長 張 富士夫	九段事務所	〒102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階	03(3234)6271・F(3234)6007

地方代表団体	会長	〒	事務局所在地	電話・FAX
(一財)北海道剣道連盟	藤井 稔	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662・3・F(820)1662・3
青森県	増田 知幸	030-0903	青森市栄町1-7-8	017(764)0340・F(764)0340
秋田県	目黒 大作	010-0914	秋田市保戸野千代田町14-12 SAKAEビル2F B室	018(883)0680・F(883)0663
山形県	板垣 隆	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825・F(625)4826
岩手県	小笠原宏志	020-0122	盛岡市みたけ3-38-20 (一財)岩手県青少年会館内	019(645)2220・F(645)2220
(一財)宮城県	井上 雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461・F(746)8462
福島県	長谷川弘一	960-0102	福島市鎌田字町23 サラダハウスA101号	024(597)8218・F(597)8218
(一財)茨城県	小倉 培夫	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811・F(255)6228
栃木県	白石 正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館2階	028(624)4567・F(627)4001
群馬県	武藤 成孝	371-0033	前橋市国領町1-10-15 小林 一隆 方	027(288)7767・F(288)7765
(公財)埼玉県	山中 茂樹	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎4階	048(834)8869・F(834)8879
(一財)東京都	千葉 胤道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166・F(5405)3680
(一財)千葉県	川畑 富保	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20	043(285)4331・F(285)4333
神奈川県	小林 英雄	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1 相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175・F(321)6176
山梨県	渡邊 宏一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162・F(278)6163
(一財)新潟県	浅原 行雄	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル2階	025(384)4784・F(384)4784
(一財)石川県	南 信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号	076(253)0310・F(253)0341
(一財)富山県	牧田 稔	939-8081	富山市堀川小泉町841-4 プライムステージ堀川106	076(492)4040・F(423)6087
(一財)福井県	片山 外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616・F(28)6616
(一財)長野県	加瀬 浩明	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939・F(235)8266
(一社)静岡県	吉村 勝	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428・F(263)8367
(一財)愛知県	大嶽 將文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22	052(481)0093・F(481)0095
岐阜県	堤 俊彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12 岐阜県水産会館611	058(274)1521・F(274)8949
三重県	岡田 一義	514-0007	津市大谷町152 大谷ハイム1-202号	059(226)5975・F(229)7407
(一財)滋賀県	中野 正堂	524-0022	守山市守山4-7-20 辻田ビル2階	077(514)3165・F(514)3178
(一財)京都府	伊吹 文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19	075(761)8288・F(761)8287
(公社)大阪府	長榮 周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館502号	06(6351)3345・F(6351)3346
(一財)奈良県	吉田 克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14 不動ビル505号	0742(32)5008・F(32)5011
和歌山県	世耕 弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760・F(432)7759
(公財)兵庫県	河野修一郎	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145・F(802)5240
(一財)岡山県	山本晋一郎	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255・F(235)3245
(一財)広島県	林 正夫	730-0014	広島市中区上職町1-5	082(962)3076・F(962)3087
(一財)山口県	茨木 貴	753-0083	山口市後河原237-1 警察体育館別館内	083(932)5072・F(932)5073
鳥取県	岸田 芋	680-0036	鳥取市川端3-216 瀧本ビル3階	0857(29)2668・F(29)2668
島根県	大西 和幸	690-0883	松江市北田町47-1 鬼村純方	0852(27)6222・F(27)6222
香川県	木内 光良	760-0033	高松市丸の内4-6 アラクビル2階南	087(880)4463・F(880)4467
愛媛県	俊野 徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28 福泉ビル205号	089(941)9394・F(941)3013
高知県	渡邊 三則	780-0026	高知市秦南町1-5-12 恒石 章彦 方	088(871)5184・F(871)5184
徳島県	三木 毅	770-0861	徳島市住吉3-9-6 栗本マンション106号	088(652)2337・F(652)2360
(公社)福岡県	青柳 俊彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1 福岡武道館内	092(712)1890・F(712)1891
佐賀県	井上正一郎	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184・F(20)9888
(一財)長崎県	松尾 博行	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095(826)5220・F(826)5220
(一財)大分県	安部 正定	870-0820	大分市西大道1-1-76 第2ハルキョーポ101号	097(547)9980・F(547)9981
熊本県		862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998・F(381)8998
宮崎県		880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890・F(62)3893
鹿児島県	俣木 正喜	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20 県立武道館内	099(255)8778・F(255)8778
(一財)沖縄県	石原 昌弘	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410・F(996)4616

全剣連発行の頒布物一覧

令和3年3月現在

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則(和英版)	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥400	55	3
杖道試合・審判規則	¥450	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書(英語版)	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説(英語版)	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説(英語版)	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領(英語版)	¥3,400	858	11
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2
全剣連五十年史	¥3,100	1073	30
全剣連と剣道界 この十年の歩み	¥2,000	917	23
剣道英辞典(第3版)	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本(改訂版)	¥2,100	664	13
剣道医学Q&A(第3版)	¥2,100	785	15
剣道医学救急ハンドブック(第3版)	¥500	97	4
剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル(第二刷)	¥300	90	3
剣道講習会資料	¥500	310	8
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法(英語版)	¥700	173	2
剣道用具の保守・管理(英語版)	¥400	69	3
居合道における日本刀及び模擬刀の取扱要領	¥400	106	2

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道学科審査の問題例と解答例(初段～五段)	¥500	175	3
剣道授業の展開(DVD付き)	¥1,000	346	7
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
全剣連社会体育指導員養成講習会20周年記念誌	¥1,500	642	13
木刀による剣道基本技稽古法 DVD	¥3,600	92	15
居合DVD(英語版)	¥3,100	93	15
竹刀-剣道の発展を支えた竹刀の歩み- DVD	¥3,100	100	15
剣道人バッジ小ネジ	¥1,200	13	16
剣道人バッジ小タック	¥1,200	13	16
剣道人バッジ大ネジ	¥1,600	15	16
剣道人バッジ大タック	¥1,600	14	16
タイピン(真鍮バー)	¥2,000	24	25
カフス・タイピン(真鍮バー)	¥6,100	66	30
FIKバッジ(ネジ・タック)	各¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,000	58	16
女子審判用ネクタイ	¥1,500	52	9
竹刀検査用基準器 ゲージ1(先革先端部最小直径計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 ゲージ2(ちくとう対角計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 検査台(ちくとう対角計測用)	¥9,800	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
ぶしし手ぬぐい(白・紺・黄)	各¥500	38	4
ぶししクリアファイル(5枚セット)	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししTシャツ 青・エンジ(S,M,L,LL)	各¥2,500	170	20
ぶししアイロンワッペン	¥700	1	3
ぶししラバーキーホルダー	¥600	19	5
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210

※品物はすべて消費税込みとなります。

※全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

『購入申し込み方法』

(1)インターネットからのお申し込み … <https://zenkenren-shop.com>

(2)FAXでのお申し込み …… 心力舎企画株式会社 **03-3451-6905** へFAXして下さい。

①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧FAX番号をご記入下さい。

お支払い金額(品物代金+送料)を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法 (②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料 (送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

①宅 配 便 … 送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便 … (この場合、代金引換はご利用いただけません。)

全国一律、500円で、**A4サイズ(厚さ20mmまで)**の品物の配送に利用いただけます。

※オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事(以下「大会等」という。)における写真・動画の撮影及び音声の録音(以下「ビデオ撮影等」という。)並びに撮影した映像及び録音した音声(以下「撮影映像等」という。)の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

全日本剣道連盟 広報誌

月刊 剣窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

長久手合戦図屏風(部分) 徳川美術館蔵

天正12年(1584)4月9日に長久手(愛知県長久手市)で起こった徳川軍と森・池田軍(秀吉方)の合戦を描いています。画面中央上部には、山陰から現れた家康の金扇の馬標、左寄りの場所では鉄炮で眉間を射抜かれる森長可、下部には討ち取られる池田恒興の姿がみられます。

この合戦は、井伊直政が武田家の旧臣を引き入れ、赤備えとして初めて臨んだ合戦で、大いに武功を挙げ、井伊の名を世に知らしめました。直政の姿は、中央の山上と下部の組討ちをする姿の二ヶ所に描かれています。

本屏風は令和3年7月17日(土)から9月12日(日)まで、夏季特別展「家康から義直へ」で展示します。(会期中展示替えがあります)

〔長久手合戦図屏風(部分) 江戸時代 18-19世紀 徳川美術館蔵〕

令和3年6月5日(土)～7月11日(日)

特別展「名刀紀行ー京・大和と九州ー」

会場：徳川美術館 本館

代表的な刀剣産地に数えられる山城(京都府)・大和(奈良県)および大和の刀工の流れをくむ九州の刀工の名刀を一堂に展示します。

企画展「あかがね／くろがね」

会場：名古屋市蓬左文庫 展示室

銅・鉄という金属素材に着目し、武家の人々のこだわりが詰まった刀装具や茶道具などを紹介し、合金技術や各種加工技術にも迫ります。

令和3年7月17日(土)～9月12日(日)

夏季特別展「家康から義直へ」

会場：徳川美術館 本館

天下統一を果たした徳川家康と、泰平の世に尾張国の統治を任された家康の9男義直。義直へと受け継がれた治世方針に焦点をあてながら、二人の生涯、そして義直の家康への思いを、遺品や史料などから読み解きます。

【徳川美術館】

徳川美術館は、徳川家康の遺品を中心に、尾張徳川家初代義直(家康9男)以下代々の遺愛品、いわゆる「大名道具」1万件余りを収める美術館です。国宝「源氏物語絵巻」をはじめ、国宝9件、重要文化財59件など、種類の豊富さ、質の高さ、保存状態の良さを誇ります。本館は国の有形文化財に登録されています。

【観覧案内】

住所 〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017

T E L 052-935-6262

F A X 052-935-6261

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)・年末年始

観覧料 一般 1,400円、高大生700円、小中生500円

※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引。

※土曜日は小中高生入館料無料。

私たちは《剣道》を応援しています



JAPAN AIRLINES



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

トヨタ自動車株式会社

